

ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>

C O N T E N T S

ページ 項目

報告 <Report>

- 2 第52回中四国医学検査学会レポート
- 3 第21回東広島健康福祉祭りレポート
- 3 検査と健康展レポート
- 7 第21回東部地区学会レポート
- 8 第26回福山医学祭レポート

案内 <Information>

- 9 第37回広島県医学検査学会～第5報～
- 10 新春祝賀会のご案内
- 11 ベッドサイド実践講習会のお知らせ
- 11 広臨技メールマガジンについて



第21回 東部地区学会の様子

「集まれ！広臨技」開催のお知らせ

第37回広島県医学検査学会に先立って開催されます。

【開催日】令和2年2月15日(土) 14:20～15:35

【場 所】広島 YMCA 国際文化センター
〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀 7-11

【内 容】

- ① 広臨技 Web サイトの必要性について
- ② 広臨技各部門の紹介

生涯教育基礎20点が付きます



「令和2年 新春祝賀会のご案内」

平素は、当会活動にご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会では会員および賛助会員の皆様と役員一同が、情報交換をするとともに親しく交流できる場をと考え、恒例の新春祝賀会を予定しております。

詳しくはP10の「ご案内」をご覧ください。

広報部へのご意見・ご要望は 専用 E-Mail <koho@hiroringi.or.jp>

(次号速報の原稿〆切りは12月13日です)

第 52 回中四国支部医学検査学会 レポート



この度、第 52 回中四国支部医学検査学会が 2019 年 11 月 2～3 日の 2 日間にわたり島根県人会館、サンラポーむらくもにて開催されました。令和最初の学会テーマは「検査の力ー臨床検査の可能性を求めてー」として島根県臨床検査技師会、三島清司学会長により開会の挨拶がなされ本学会が幕を開け、学会参加人数は約 1000 名、情報交換会は約 300 名もの方々が参加されました。

一般演題は総合計 153 題、特別企画・演題数 37 題、ランチョンセミナー14 題、34 社の企業展示がありました。

平成 30 年 12 月 1 日の医療法改正にて精度管理を行っていくための基準が初めて文書化されました。日臨技としては検体検査の精度の確保に係る精度管理責任者育成のための講習会、標準作業書及び作業日誌等の文書類の雛型を HP 上に掲載し、さらにイーラーニングでの説明を行いました。また、参加拡充に向けて精度管理調査に参加されていない施設にアンケートが実施されました。

全国的に ISO15189 を取得される施設も多くなってきたと思いますが、取得に対して難渋された施設も少なくないかと思えます。最近の取得施設の分類は国立（私大を含む）67 施設、総合病院 73 施設、登録衛生検査所 75 施設の取得状況ということでした。

特別企画として「臨床検査の品質・精度の確保に第三者評価をどう活かすか」という講演では『品質』とは何か？検査室の商品とは何か？という内容で講演され、『最終的に品質とは中心にあるものとして『安心』という言葉を取り巻いているもの（データ、品質等）をまとめたものが検査室の商品の一

つであり、この質を上げることによって対象の顧客（カスタマー）の安心を得ること、これが検査室の商品ではないか。』とおっしゃられていました。また、シンポジウムでは「生理学的検査の精度管理と教育ーISO15189 を活用した取り組みー」としての講演があり、取得された立場からのお話が聞けました。ISO 取得に対して様々な質問があり、それぞれの施設で創意工夫をされていると感じました。

特別講演では、今後の医療界への進歩と導入が予想される AI（人工知能）が臨床検査とどのようにつながっていくかという講演がありました。採血は人でしかできないと言われていましたが、自動採血ロボットという試みが報告されています。赤外線と超音波で自動的に採血できる仕組みとなっており一回での成功率は 83%ということでの的中率に驚きました。

今後の AI は急速な進歩を遂げると思われ、検体検査や採血、生理検査でも AI が活躍する日がくるかもしれません。しかし、『最終的な消費者は患者であるという視点が大事であり、AI の導入により消えていく仕組みもあるが、AI ができることは AI に任せることで検査に余裕ができ、より患者と接する機会が増えると考え、そのための道具に過ぎないのではないか。医療従事者は AI をうまく利用し、AI にできないコミュニケーションを身につけ患者に寄り添う医療、感謝されることを喜びとすることが大事。』とおっしゃられていました。AI はとてもすばらしい存在だと思いましたが、その半面、各々の医療職種の存在意義を失いかねない存在にもなりえるのだという危険も持ち合わせています。その中で、AI にはできない『患者に寄りそう医療』を目指していかなければならないと思いました。また、ランチョンセミナーでは『CT では分からなかったことが超音波で発見できた。』という話を聞き、検査には様々な診断材料（機械など）があるが、その機器の得意・不得意分野を見極め、機械の強みを生かした検査を遂行していくことが大事だと思いました。

日臨技企画の宮島会長の講演では、将来の臨床検査技師に対する教育に関する話もあり、我々検査技師も自分の力を強くするために、いろんなことに挑戦していかなければならないと感じました。最後になりましたが、今回本学会に参加された皆様、関係者の皆様、運営に携わられたスタッフの皆様には厚く御礼を申し上げます。（広報部 土橋）

第21回 東広島健康福祉祭り レポート



2019年11月3日(日)、東広島市総合福祉センターにて第21回東広島健康福祉まつりが行われました。今年のテーマは「さりげない優しさでつまれる街 東広島」。この健康福祉まつりは、東広島地区の各ボランティア団体、医療機関、企業、大学と地域住民の交流を目的として、東広島市社会福祉協議会主催にて毎年行われています。屋内は健康に関わる体験や相談ができる健康ゾーン、手話や音訳などが体験できる福祉体験ゾーン、陶芸体験や福祉用具の展示などを行っている活動紹介ゾーンがあり、屋外のステージではダンス発表や楽器演奏などが行われ、飲食ブースでは酒まんじゅうなどが売られていました。

健康ゾーンでは、医師会による脳年齢・眼圧・血糖測定や健康相談、看護協会による乳がんモデル触診体験、薬剤師会による骨密度・体組成測定、歯科衛生士会によるフッ素塗布体験など、様々な医療団体が出展し、参加者はチェックシートを片手に各ブースを回っていました。広臨技東広島地区からは9名が参加し、肺機能測定(肺年齢測定)を行いました。肺機能測定をした後に、医師による結果説明を

受けられるシステムで、多くの方が参加されていました。

呼吸機能検査は病院でないと体験する機会があまりなく、参加者が主体となって検査に取り組みないといけないため、去年も体験された方でも難しかったようです。スタッフの技師は「普段、業務で呼吸機能検査を行っていますが、検査に慣れていない方が多いので検査前の説明を特に気を付けました。」とコメントしていただきました。今回、お話を聞くことができた参加者は、16年前から毎年健康福祉まつりを楽しみに来られているようで、「去年も肺年齢測定を受けて結果がとても良かったのに、今年は風邪をひいてしまって結果が悪くなって残念。リベンジしに来年もまた測定したい。熟年大学に通っていて、ヨガやロコモ体操、絵手紙、カーブなど色々な趣味を持って楽しむことが私の健康の秘訣。臨床検査技師という仕事があるんですね。」と話していただきました。

今回の活動が、地域住民の健康づくりの手助けになったとともに、臨床検査技師のことを知ってもらえる良い機会になったと思います。

(東広島医療センター 山根佳純)



検査と健康展 レポート

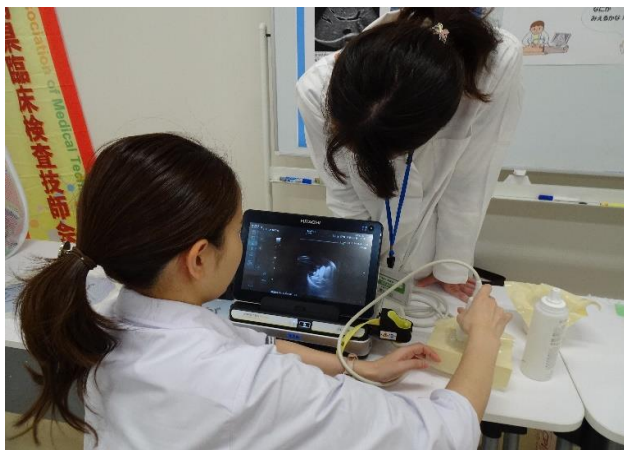
令和元年11月09日(土)、「検査と健康展」が、廿日市市のゆめタウンで行われました。

このイベントは、生活習慣病の早期発見、定期的な健康診断の重要性を啓発するとともに、臨床検査の正しい知識と普及、臨床検査技師を広く紹介することを目的とし、年1回開催されています。

今回は、血管年齢(CAVI検査)、肺機能検査、骨密度検査、簡易血糖測定、経皮的貧血検査、物忘れ相談プログラム(認知症スクリーニング検査)、DVT(下肢静脈血栓)検査の7つの検査が行われたたくさんの方に受検していただきました。

参加されている方の中には、検査を受けられて「食事に気をつけているつもりなのに、血管年齢が悪い

なんて思わなかった」と驚かされている方や、「無料のイベントなのでもっと簡易的なことをするのかと思っていたけれど、ここまでしっかりとした検査をしてくださるなんて思わなかった」、「毎年やっているのなら是非来年も参加したい」と言ってくださる方もいらっしゃり、このイベントの重要性を感じられました。



子供向けに行われた検査体験コーナーでは、エコー検査体験、顕微鏡検査体験の2つが行われました。エコー検査で一生懸命に画像を出そうとしている姿や、椅子の上に立って興味津々に顕微鏡をのぞいている姿はとてかわいらしく、これを機に検査に興味をもってくれるとうれしいです。

今回の検査と健康展は、臨床検査技師、医師、その他メーカーの方々や多くのボランティアの方々の協力のもと行われました。今年は例年よりも受験者

数は少なめではありましたが、待ち時間が短くその分全ての検査を受検される方、医師による健康相談コーナーでしっかりと今回の検査結果や日々の悩みを相談されている方が多くみられました。

「検査と健康展」のイベントを通して、臨床検査技師について知っていただき、定期的な健康診断や臨床検査の正しい知識の重要性を考えていただく時間となればうれしいです。

また、わたしたちも他病院の臨床検査技師の方と交流が持て、いろいろな情報交換やコミュニケーションをとることができ、充実した一日を過ごすことができました。

ぜひ、来年はボランティアとして参加されてみてはいかがでしょうか。

今回参加して下さったスタッフの皆様、関係各位の皆様にお礼申し上げます。

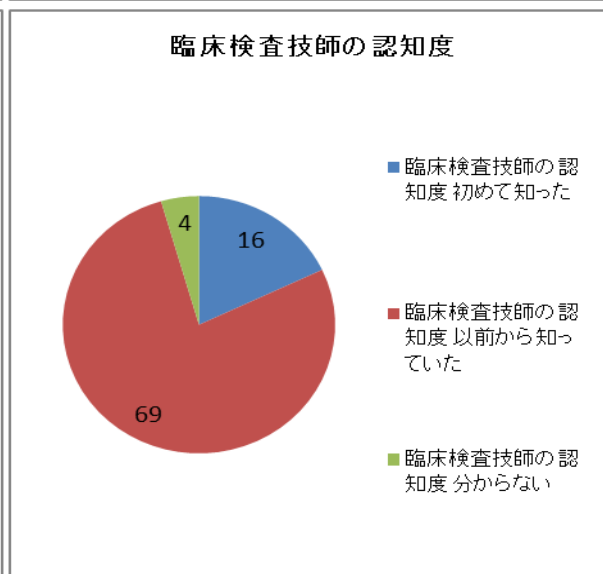
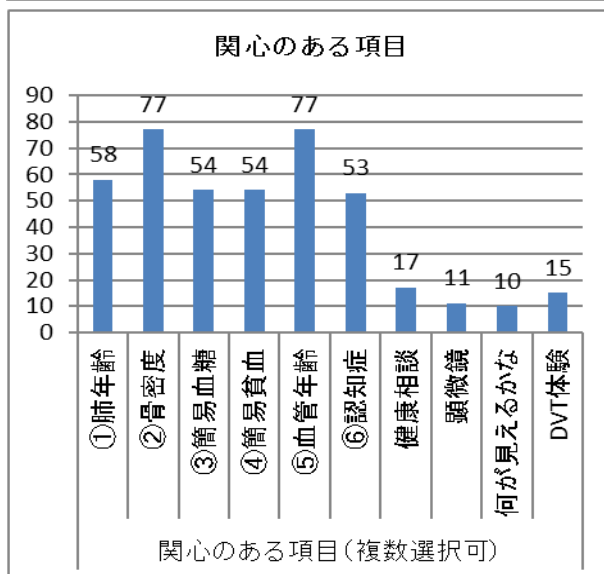
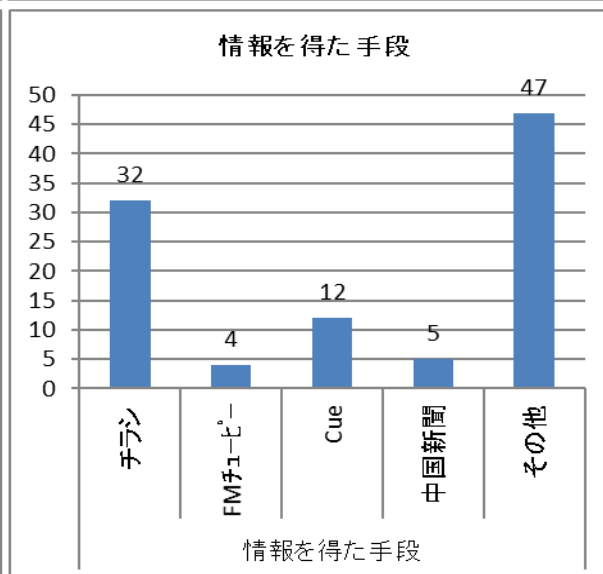
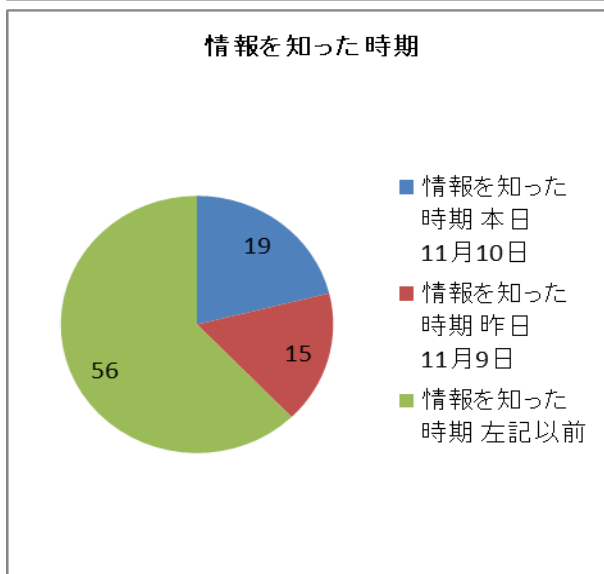
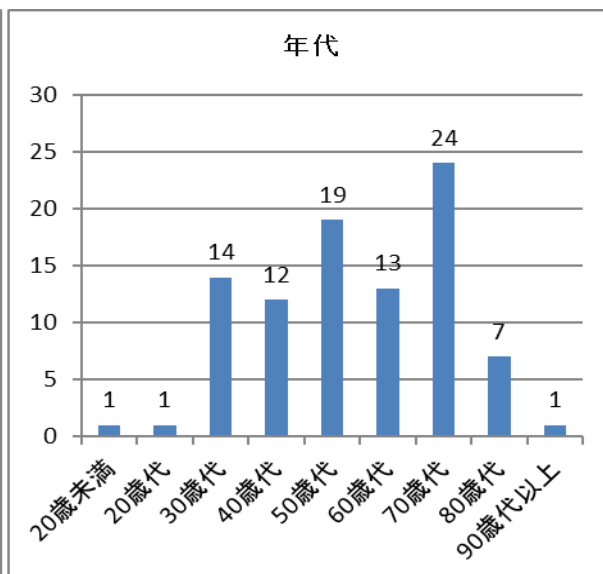
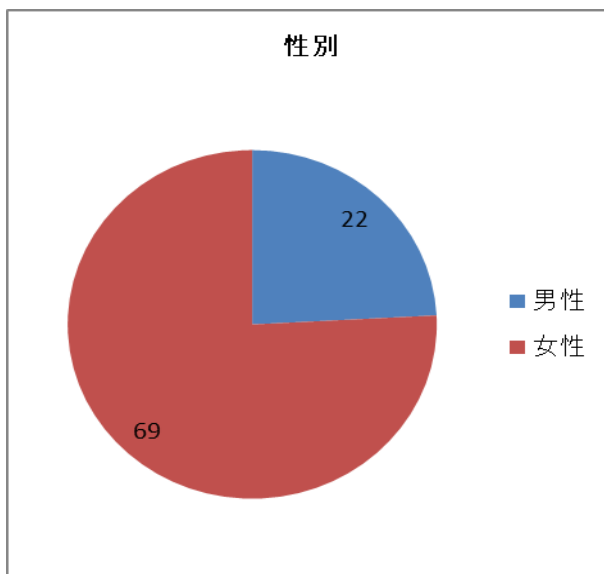
(広報部 鍵原)

項目	件数
①肺年齢	154名
②骨年齢	154名
③血糖	146名
④貧血	127名
⑤血管年齢	156名
⑥認知症	111名
⑦DVT	40名
⑧顕微鏡	大人24名、子ども16名
⑨キッズエコー	30名
⑩検査相談	29名



<検査と健康展 アンケート集計 No1>

アンケート142枚配布(推定), 回収92枚 *回収率 : 64.8%



＜検査と健康展 アンケート集計 No2 ＞

自由コメント

意見・感想
自分の検査されたことにより、身体について知ることができ、しかもやさしいナビゲートと無料がとてもよかった。
ありがとうございました。無料で本当に良いと思いました。
定期的に別の場所でも開催下さい。イオン府中、イズミみゆき、他
血液を採って血糖値などの詳しい検査がうけられるのかなと思った。普段、職場健診を受けられる会社員とかではないので。簡単に時間がかからなくてよかった。
とても受けやすい雰囲気良かったです。次回もよろしくお願いします。
今回の検査で実年齢との差があり、もっと自分自身の体のこと、健康に気を使うことを取り組んでいきたい
今回の検査で健康に対する姿勢を正していきたいと思いました
数値を知ることができたので、今後の生活で改善していきたい
いろいろな検査が無料で気軽に受けられて良かったです。検査技師の方たちがしっかりされていて、病院に行くことがあっても安心して病院に行くことができると思いました。ありがとうございました。
子供向けイベントがあり、楽しめました。小学校等に告知のポスター等、配布してくださるとうれいいです。
ありがとうございました
今日は初めて受けさせて戴きましたが、御親切でやさしい御指導有難うございました。毎年受けさせて戴いたら嬉しいです。
良い検査と思います（簡易に受けられる）。続けてほしいです。
昨年に引き続き、来させていただきます。日々の生活のうえで注意をするようになるので、ありがたい催しだと思います。
始めて受ける検査が多くて面白かったです。広島市内でもやってください。
今まで調べたことのない検査ができて良かったです
今日、初めて参加しました。とても良かったです。健康相談の先生のお話も聞いてみて、実践したいと思いました。ありがとうございました。
職場の健康診断で行わない検査を受け、いろいろなことを知りました。ありがとうございました。
この様な機会により、日頃の健康管理・増進に心がけていきたい。ありがとうございました。
無料でやっていただいて、良かったです。肺機能は気になっていたもので、安心しました。
無料でできることがありがたい。もっといろんなところでやってほしい。
無料なのに親切に対応していただき、ありがたいと思いました。
とても良かった。また次回も参加したい。
良かった。
なかなか検査することがないので、良かったです。ありがとうございました。
子育て中はなかなか自分の体のことを気遣えないので、良かったです。ありがとうございました。
とても参考になりました。ありがとうございました。
3年前に偶然受けて、それからは、パソコンで日程を調べています。毎年、ゆめタウンに来てもらって、ありがとうございます。楽しみにしています。参考にさせてもらってます。来年も来る予定です。
ありがとうございました。
はじめての検査にいろいろ勉強になりました。また参加したいです。
検査技師をしているので、家族に自分の仕事について知ってもらう機会があって有難いです。

面白かった
気軽に検査してもらって良かったです。又、機会があれば参加してみたいです。ありがとうございました。
思ってもなかなか受診することができませんが、一度にすべてをみていただき、本当に助かりました。ありがとうございます。
中国新聞でないので、もう少し告知をしてほしい
とても良かった。毎年受けている。検診以外のことも知ることが出来ました。
相談にのっていただき、ありがとうございました。
大変楽な検査で受けやすかった。これからどうすれば良いかは、考える事にします。
たくさんの検査を無料で受けることができ、感謝します。有難うございました。
始めて受けたので、色々アドバイスをもらってよかった。
いつも無料で検査してもらえて助かります。今年は血管機能測定がなくて残念でした。
今の自分の状態が無料でしていただけて良かった。悪化しないようにしたいと思います。
いろいろ知れて良かったです。
ありがとう
病院に行って検査するには時間（予約）がかかるため、今回のような検査は大変ありがたい。

第 21 回 東部地区学会 レポート

2019年11月10日（日）、三原国際ホテルにて第21回東部地区学会が開催されました。今回の東部地区学会は、一般演題6題と、教育講演「地域に飛び出した臨床検査技師の取り組み」、そして特別講演「高齢者の生き方に医療者はどう答えるべきか」という内容で進行しました。

一般演題は、生物化学分析部門が1題、臨床生理部門が1題、輸血細胞治療部門が1題、臨床微生物部門が1題、病理細胞部門が2題でした。東部地区学会は若手技師の登竜門ともされており、若手技師の方々も多く発表されていました。自施設における取り組みや経験した症例など、どの発表もしっかり検討されており、とても興味深い内容ばかりでした。会場からも活発に質疑応答が行われ、大変盛り上がりました。



教育講演では、広島県廿日市市地域支援員の黒木真由先生をお招きし、「地域に飛び出した臨床検査技師の取り組み」と題し講演をしていただきました。黒木先生は広島市立安佐市民病院で臨床検査技師として5年間勤務されたのち、現在は廿日市市

原地区の地域支援員としてご活動されています。

「JAMT magazine」2019年新年号にて掲載された「若手技師との新春座談会」に参加され、そのなかで地域医療について語られました。またその他にホームケアクリニックでの勤務や認知症の講習会講師、FMはつかいちのパーソナリティなど多方面でご活躍されています。黒木先生はおばあさまが病気になることがきっかけで、「病院から帰ったあと、患者さんは自分の地域で安心して生活できているのだろうか？」「病気を治すことだけが医療だろうか？もっと人々の心と寄り添った医療がしたい！」と考え、そのための活動を決意されたそうです。また、実際のコミュニティナースの方と知り合ったことも大きなきっかけだったそうです。コミュニティナースとは、「いつも地域の中において、健康的な町づくりをする医療人材」のことです。地域住民の方々とは信頼関係を築きながら、自身の医療者としての専門性や知識を生かした活動を行い、地域の人々がいつも楽しいと思えるような町をつくるのが活動目的です。黒木先生は現在、地域支援員として、イベント企画、広報活動などの町づくりに関する活動のほか、地域サロンへの参加、自宅訪問、健康や暮らしの悩み相談、勉強会の開催など、様々な活動をされています。黒木先生の貴重なお話を聞いて、自らで考え病院から地域へ飛び出した黒木先生の行動力に感動しました。

特別講演では、三原赤十字病院・呼吸器内科／広島原爆養護ホーム舟入むつみ園の有田健一先生をお招きし、「高齢者の生き方に医療者はどう答えるべ

きか」と題した講演をしていただきました。誰しも老いるに伴って（あるいは老いずとも）、それまで順調だったはずの人生のコントロール感を突然の病気や事故などで失うことがあるかもしれません。それはとても辛く受け入れがたく、こんなはずではなかったと感じるかもしれません。そうして人は必ず死に向かっていきます。そんな人生の終盤をあなたはその時どう生きますか？有田先生には、ACP（アドバンスケアプランニング）について、実際の経験を交えながらご講演いただきました。ACPとは、患者本人と家族が医療者などと一緒に、意思決定能力が低下する場合に備えて、現在の病気だけでなく終末期を含めた今後の医療や介護について話し合うことや、本人に代わって意思決定をする人を決めておくことです。自分の家族のことも頭によぎりながら、大変興味深くお話を聞かせていただいたと同時に

に、大変難しいお話であると感じました。有田先生の話聞いて、私の施設では、臨床検査技師は医師と患者が納得のいく意思決定をするために正確な検査結果を提供することが大切だと再確認できたという意見がありました。今後の自身の業務に生かしていきたいと思います。

学会終了後は懇親会会場へ移動し、懇親会がスタートしました。懇親会では、近く参加者とグループをつくり、〇×ゲームなどレクリエーションが企画され、あっという間に楽しい時間が過ぎて行きました。今回の東部地区学会の参加人数は128人でした。参加された会員、賛助会員の皆様や講師の先生方、ご協力ありがとうございました。また、東部地区理事をはじめ運営に携わってくださった地区委員や学術部門員の皆様、お疲れ様でした。

（広報部 池本）

第26回 福山医学祭 レポート

令和元年11月17日（日）に福山市医師会館にて第26回福山医学祭が開催されました。昨年は医師会館改修工事のために縮小した医療従事者のみの学会となっていたのですが、今年は市民公開講座も復活し、多くの方が参加されました。

一般演題では、口述発表66題とポスター発表22題があり、医師や看護師など医療に取り組むあらゆる分野の医療従事者が様々な視点から問題に取り組み、日頃の研究成果を発表されました。臨床検査の分野でも4題発表がありました。

また特別企画として、広島県臨床工学技士会の企画ではTVドラマ等で登場しているような医療機器にさわろう！といった体験コーナーもありました。臨床工学技士（ME）さんにマンツーマンで詳しく説明していただき、私も心臓手術中の映像とバイタルのモニターを見ながら実際に人工心肺装置の操作を体験させていただきました。検査センターで毎日顕微鏡を覗いている私には未知の世界でとても緊張しました。MEさんの業務の苦労や、人工透析などではその患者様にあったオーダーメイド医療が進んでいることを知り、よい刺激となりました。

お昼をはさみ午後からは市民公開講座がありました。今回は「こどもの食物アレルギー・れいわの最新常識」と題したシンポジウムで、3名の小児科医の先生方が食物アレルギーのしくみ、食物アレルギーの検査について、アナフィラキシー症状と対処法など分かりやすくお話くださいました。そのほか栄養管理科の先生は食物アレルギーにおける栄養指導に

ついて、福山市市内の小学校の養護教諭は学校における現状と対策についての発表と盛りだくさんの内容でした。赤ちゃんをつれたご夫婦での参加が目立ち、大学ノートいっぱいメモされている姿も見受けられ、たくさんの方々が興味を持っていることを感じました。

1日を通して医療従事者557名、一般市民107名と多くの方が参加されました。どの発表でも“多職種連携”や“多職種チームの取り組み”といった内容が目立ったように感じました。私たち検査技師も患者様のためにワンチームとなり努力していきたいと思います。

福山医学祭は毎年この晩秋に開催されます。東部地区のみならず参加可能ですので、みなさんもぜひ様々な視点から医療について考えてみませんか？

（広報部 世良）



第 37 回 広島県医学検査学会 (第 5 報)

【開催日】令和 2 年 2 月 15 日 (土) ～16 日 (日)

【場 所】広島 YMCA 国際文化センター
〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀 7-11

【学会内容】

●メインテーマ

～新しい時代を迎えて～

第 1 日目 (令和 2 年 2 月 15 日)

●みんなで考える症例検討会 2 題

*クリッカーを使用した参加型の検討会

I 「おなかが痛い」

II 「足がしびれる」

第 2 日目 (令和 2 年 2 月 16 日)

●モーニングセミナー

アボットジャパン株式会社:「演題未定」

●ランチョンセミナー

*事前申込み制

I ベックマン・コールター株式会社「演題未定」

II キヤノンメディカルシステムズ株式会社

「演題未定」

●市民公開講座

がんの本質に迫る

「がんゲノム医療」の現状と課題

広島大学病院 檜井 孝夫先生

●一般演題

午前・午後の 2 部構成

<一般演題>

部門	氏名	所属	演題
一般	糸谷祥子	東広島医療センター	全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000 における病的円柱の検出と鏡頭分類との比較
一般	中村晶菜	広島赤十字・原爆病院	尿蛋白定性についての検討～アルカリ尿における再検は必要か～
血液	森崎敬祐	呉共済病院	好塩基性斑点と問診から気が付いた鉛中毒の 2 症例
血液	中島淑貴	厚生連 広島総合病院	全自動血液学検査装置における患者新鮮血と管理資料を用いた内部精度管理の試み
血液	西村詩保	山陽女子短期大学	リンパ球における非特異的エステラーゼ染色の検討
生物化学	小林美孔	広島市民病院	当院における血中薬物濃度検査の血清分離剤が及ぼす影響の検証
生物化学	長田夏実	安芸津病院	当院での骨粗鬆症患者における骨代謝マーカーの最小有意変化 (MSC) の検討
生理	松田浩明	中国中央病院	右脚ブロックを呈した不安定狭心症の一例
生理	本堂夏実	厚生連 広島総合病院	経胸壁心エコー検査 (TTE) を契機に診断に至った冠静脈洞左房交通症の 1 例
微生物	澁田比呂志	三原市医師会病院	MIC 判定補助システムの紹介と三原市医師会での感受性データ報告
微生物	山本望	呉市医師会臨床検査センター	呉市開業医のアンチバイオグラムについて
微生物	石田有里	広島市医師会臨床検査センター	ISO15189 取得に向けた微生物検査室の内部精度管理の取り組み
微生物	宇根千尋	中国中央病院	成人男性に発症した <i>Streptococcus agalactiae</i> による感染性心内膜炎の一例
微生物	原田耕輔	JR 広島病院	グラム染色と MALDI biotyper が診断に有用であった <i>Brachyspira pilosicoli</i> による腸管スピロヘータ症の 1 例

＜第37回広島県医学検査学会 懇親会申し込みについて＞

懇親会参加ご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX またはメールにてお申込みください。

- 日時：2020年2月15日（土） 18:00～20:00
- 会場：広島 YMCA 2号館コンベンションホール
- 会費：5,000円（※ 学会受付時に徴収いたします）
- 申込締切り：2020年1月31日（金）
- 参加申込先：FAX：082-502-6031（広臨技事務所宛て）
Mail：dtkomatu1967@gmail.com（JA広島総合病院 小松浩基 宛て）

第37回広島県医学検査学会 懇親会参加申込書

参加施設名： _____

会員番号	氏名	会員番号	氏名

令和2年新春祝賀会の開催について（ご案内）

- 日 時 令和2年1月11日（土） 18時00分～20時30分
 - 場 所 ホテルグランヴィア広島 3F 天平
広島市南区松原町1番5号 【TEL】082-262-1111
 - 会 費 10,000円（当日受付にて支払）
 - 申込方法 下記申込書にご記入の上 12月19日（木）までに FAXにてお申し込みください。
 - 申 込 先 一般社団法人広島県臨床検査技師会 事務所 FAX 082-502-6031
- *申込書を受取り次第、当方より受付確認を FAXにて返信し受け付け完了とさせていただきます。FAX送信後1週間以内に受け付け確認の FAXが届かない場合は、恐れ入りますが、電話にて広臨技事務所までお問い合わせください。（TEL 082-502-6011）

令和2年新春祝賀会出席申込書

*施設会員の方は施設ごとにとりまとめてお申し込みください

施設名 _____
 連絡先 電話番号 () _____
 FAX番号 () _____

*FAX番号を必ず記入してください

会員番号	お名前	役職（役職の記入にご協力お願いします）

ベッドサイド実践講習会のお知らせ

2019 年度 日臨技、広臨技主催 ベッドサイド実践講習会（旧多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会）

目的

国民の医療に対するニーズの多様化、複雑化により臨床検査技師の職域も検査室から外来や病棟へ、病院から在宅へと、より患者の身近での検査業務が求められています。

患者の視点に立った医療の提供が求められ、チーム医療の推進が加速している現状において、臨床検査技師以外の他職種の業務を学び、他職種連携のチーム医療に積極的に参画することが必要です。このような内容を踏まえ、ベッドサイド実践講習会（旧多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会）を開催いたします。多数のご参加をお願いいたします。

日時

2020年3月7日（土）～8日（日）

会場

県立広島病院

募集人数

60人

参加費

2,000円

受講対象

検体採取等に関する厚生労働省指定講習会を受講した者
詳細は広臨技ウェブサイト 研修会情報をご参照ください。



広臨技メールマガジンのお知らせ

**広臨技 ML コミュは終了しました。これからは広臨技メールマガジンで
皆さまに情報をお伝えします！**

広臨技会員、賛助会員の皆さま

広島県臨床検査技師会の会員専用メーリングリスト「広臨技 ML コミュ」は2019年11月をもって終了しました。これからは「広臨技メルマガ」で重要な情報をお伝えします。メールマガジンは広臨技ウェブサイト（広臨技公式サイト）の機能を利用しており安全性は確保されています。まず、広臨技ウェブサイトの会員登録が必

要となります。その後サイトにログインメニューからメルマガ登録手順となります。早急なご登録の程よろしくお願ひします。

1) 【広臨技ウェブサイト】会員登録手順

PC もしくはスマートデバイスにて『広臨技』で検索し広臨技ウェブサイトを表示します。

[会員メニュー](#)の 会員登録フォーム <https://www.hiroringi.or.jp/mem-reg/>

新規ユーザー登録へ必要な情報を入力します。 [登録](#)

2 日以内（土日祝日除く）に承認通知が登録アドレスにメールで送られてきます。

引き続き [メールマガジン登録ページ](#)へ進みます。

2) 【広臨技メールマガジン】登録手順

広臨技ウェブサイトにログイン <https://www.hiroringi.or.jp> します。

[会員メニュー](#)

メールマガジン登録ページ <https://www.hiroringi.or.jp/メールマガジン登録ページ/> へ

登録するマガジン 1, 広臨技メールマガジン 2, 地区メールマガジン（呉地区または東部地区の会員のみ）

[購読!](#) を押すと、**ロボットではないことを確認**してください。と表示されますので

キーを入力して再度 [購読!](#)

受信ボックス又は迷惑メールフォルダを確認して購読手続きを完了してください。

しばらくして広島県臨床検査技師会より承認メールが届きます。

件名：広臨技 WEB メールマガジンの購読を承認する

送信元：広臨技 WEB <E-ZINE@HIRORINGI. OR. JP>

本文

こんにちは

広島県臨床検査技師会メールマガジンを購読しました。

以下のリンクをクリックして、1. 広臨技メールマガジン、に登録を確認してください：

購読手続きを確認するには、ここをクリックしてください

ありがとうございました。

以上本文中のここをクリック ←をクリックするとサイトの完了ページが表示されますと登録完了になります。ここまでしないと完了致しません！

3) 【留意点】

①広臨技ウェブサイト会員登録は、今後の広臨技行事の申し込みなどに必要となります。

②地区メールマガジンは呉地区と東部地区があります。

③広臨技メールマガジンの登録がなければ地区メールマガジンの登録はできません。

④メールマガジンの登録アドレスは、広臨技ウェブサイトの会員登録アドレスと同じでも異なってもかまいません。施設アドレスでもよいですが、メールの宛名は登録会員様となります。

⑤広臨技メールマガジンは 24 時間以内に自動分配して配信しています。必ずしも送信ボタンを押すと即時に配信するものではございませんのでご了承下さい。

⑥メールが来ないと気付いたら、迷惑フォルダを確認してください。その後 1 日経っても無ければ下記へ問い合わせ下さい。

広臨技情報システム、ウェブサイト関連問い合わせ先：webmaster@hiroringi.or.jp

4) 【広臨技 ML コミュの終了について】

決まり次第に広臨技ウェブサイト、広臨技メルマガにてお知らせ致します。

広臨技 ML コミュに関する問い合わせ先：webmaster@hiroringi.or.jp